

第 82 回日本顕微鏡学会参加報告

機器ワンストップサービス部門 前田誠

1. はじめに(目的等)

顕微鏡学会には、大学・研究所・企業等、で電子顕微鏡を用いてあらゆる分野で研究・開発を行っている人達が参加している。最新装置の紹介、新しい分析法、様々な材料・生物の観察・解析等、発表内容は実に多岐に渡る。電子顕微鏡に関する広範囲の情報収集のために参加した。

1. 期間・場所

期間： 令和 8 年 5 月 24 日（日）～5 月 28 日（木）

場所： 仙台国際センター

2. 参加者等

大学・研究所等に所属する研究者、電子顕微鏡もしくはその周辺機器を扱っているメーカー社員 約 1000 名程度

3. 具体的な参加内容

24 日（日）、28 日（木）：移動日

25 日（水）：「装置開発・性能評価」のセッションを聴講。ポスター発表を聴講。

26 日（木）：「AI/機械学習と融合するインテリジェント顕微鏡」のセッションを聴講。
「ポスター発表を聴講。

27 日（木）：「AI/機械学習と融合するインテリジェント顕微鏡」のセッションを聴講。
「試料作製の実際と最前線」のセッションを聴講。

まとめと感想

AI/機械学習に関する発表を中心に様々な発表を聴講した。また、各種電子顕微鏡メーカーの担当者とも話をし、最新装置の動向に関する情報収集を行った。去年に比べて AI/機械学習に関する発表は明らかに増えており、今後の装置運用にも必ず大きく影響してくると思った。画像解析等では、すでに AI/機械学習を取り入れて業務を進めているが、今後一層の学習が必要だと感じた。従来、電子顕微鏡は自動運転が難しい装置であるとされてきたが、条件付きでの自動運転はすでに達成しており、今後この傾向は益々強くなると思われる。取得できるデータ量が膨大となったときに、AI/機械学習を用いた自動解析が大きな力を発揮すると思われる。今後もこういった流れに乗り遅れないように情報収集、学習を欠かさず続けたい。